

4/19 五曜

高校生らサイン

岐阜「戦争なんていかない」

新日本婦人の会岐阜支部は15日夕、名鉄岐阜駅前で48回目の戦争法廃止2000万署名レッドアクションを19人の参加で行い、30分で51人分の署名が集まりました。

広げよう 2000万署名

宇留野理恵事務局長(54)、海津市の元教員(65)らが次々とマイクを持ち、「戦争法の施行で自衛隊が殺し殺される危険が迫ってきました。参院選で与野党逆転を勝ち取り、戦争法廃止の政権を実現させましょう」と訴えました。

男子高校生(15)は「自衛官を希望しているが、あくまで東日本大震災で活躍した自衛隊員でありたい。戦争なんていかない」と署名。フットサルの部活を終えた男子高校生3人組(15)は、「僕たちも安倍首相のいうことはおかしいと思っっている。もっと若い人たちが宣伝するといい。頑張ってください」と笑顔で署名しました。

女子学生(16)は「これ(署名)絶対やるから」と友だちを引き留め、みんなで署名しました。女子学生の一人は、「北朝鮮ミサイル問題で日本が危ないというけど、戦争法こそ危ないのでは」と語りました。